

社会貢献活動

障害者雇用への積極的な取り組み

当行は創立以来「心のふれあいを大切にするハートの銀行」として、障害者雇用にも積極的に取り組み、平成6年9月には障害者雇用優良事業所として労働大臣表彰を受賞しました。今年度も障害者の法定雇用率を達成し、現在、全国で272名(平成10年6月1日現在)が業務に従事しています。

災害に対する支援

平成7年1月の阪神・淡路大震災、平成8年2月の中国雲南省北西部での地震災害に対して、多数のお客さまをはじめ、当行および当行行員も協力し、義援金をお贈りしました。また、平成9年1月の日本海におけるタンカー重油流出事故の被害に対して、財団法人世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)と協力し、義援金の募集を行いました。なお、日本海におけるタンカー重油流出事故では、当行行員による重油回収のボランティア活動も実施しました。

「ハートの自然環境保護口座」

お客さまが専用の総合口座を利用して財団法人世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)に自動的に寄付ができる「ハートの自然環境保護口座」を平成6年6月から取り扱っています。これは、お客さまの申込件数に応じて当行も財団法人世界自然保護基金日本委員会(WWF Japan)へ寄付を行い、お客さまとともに環境保護活動を行おうという趣旨です。今回、その実績がWWFに評価され、本邦初のGold Panda Awardを受賞することとなりました。

行員のボランティア活動を支援

当行は「ボランティア休暇制度」により、行員のボランティア活動を支援しています。また、「DKB小さな親切運動の会」では、全国一斉に地域の清掃活動を行う「日本列島クリーン作戦」を毎年実施しています。さらに、全国のお客さまや当行行員からよせられた、使用済み切手・使用済みテレホンカードの収集運動を行い、発展途上国の社会福祉の向上に役立てています。



Jリーグオフィシャルスポンサーへの参加

平成8年1月よりオフィシャルスポンサーとしてJリーグへ協賛しています。これは「スポーツ文化としてのサッカーの振興と地域に根ざした活動による環境整備」というJリーグの基本理念に共鳴して行ったもので、国民に幅広い人気を博しているサッカーへの支援はわが国のスポーツ文化の発展や青少年の健全な育成にも寄与するものと考えています。

「はあと記念財団」による活動

当行の発足を記念して昭和47年に設立された「はあと記念財団」は、へき地教育、障害児教育および老人福祉に対する助成を中心に、活発な活動を続けています。なかでも、発足時から継続して行われている全国の老人ホームへの自動車「はあと号」の寄贈は、平成9年度も7台実施され、通算して205台になりました。



「ハートバザー」の開催

平成10年1月に初めての試みとして、全国の行員から古本、中古CDを収集し本店でバザーを開催しました。全行員参加型の社会貢献活動として実施したこのバザーでの売上金は、すべて「はあと記念財団」に寄付され、同財団のさまざまな社会貢献活動に役立てられています。



当行は「心のふれあいを大切にする銀行」をモットーに、文化活動をはじめ社会福祉活動、ボランティア活動、国際交流などに地道に取り組んできました。これからも幅広い分野で活動を一層広めていきます。

国際交流への積極的な取り組み

台北支店30周年記念として平成元年に「財団法人 第一勧業銀行慈善事業愛心基金会」を設立しました。総合医療機関が必要とする救急車の寄贈、福祉機関が必要とする乗用または積載用自動車の寄贈、その他慈善活動を台北中心に展開しています。また、在日留学生の独身寮受け入れなど国際交流および海外地域貢献にも積極的に取り組んでいます。

